

(5) コンクリート二次製品

ヒューム管

記事提供：全国ヒューム管協会北陸支部

新潟・富山、2県の出荷状況

令和4年度10月～12月期の出荷量は、新潟県は前年比200t減で700t、富山県は前年比200t減の1,000t、2県の出荷量合計は1,700tで前年同期比19%減となった。

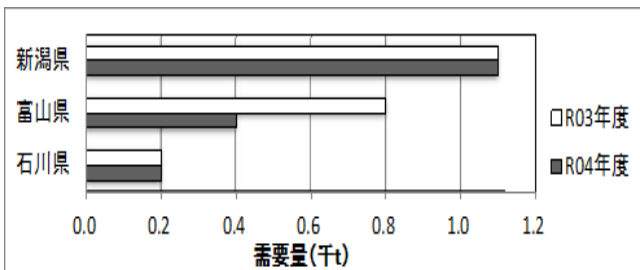
また、令和4年度累計では、新潟県は前年比500t増の3,500t、富山県は前年比200t減で2,600t、2県の累計出荷量合計は、6,100tで前年比5%増となった。

新潟・富山・石川、3県の需要動向

令和4年度10月～12月期の3県需要の合計は、1,700tで前年同期比19%減(400t減)となっている。県別では、新潟県が増減無し(±0t)、富山県が50%減(400t減)、石川県が増減無し(±0t)であった。

尚、令和4年度累計需要合計は、新潟県が19%増(700t増)、富山県が25%減(400t減)、石川県が20%増(100t増)となり、北陸3県全体で6,200t(400t増)、前年同期比の107%となった。

ヒューム管需要量の推移(10月～12月期)

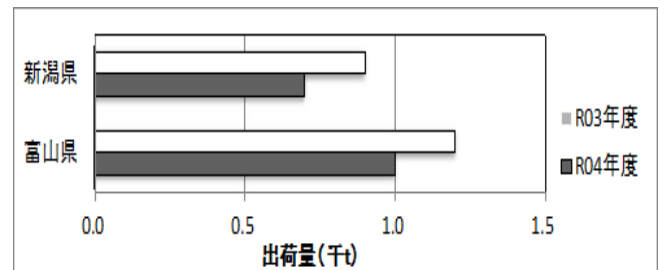


(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和3年度 年計	令和4年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	▲4	18	44	0	▲100	19
	4.8	2.0	1.3	1.1	0.0	4.4
富山県	27	50	▲17	▲50	▲100	▲25
	1.9	0.3	0.5	0.4	0.0	1.2
石川県	0	▲50	200	0	▲100	20
	0.6	0.1	0.3	0.2	0.0	0.6
3県計	3	14	31	▲19	▲100	7
	7.3	2.4	2.1	1.7	0.0	6.2

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社

ヒューム管出荷量の推移(10月～12月期)



(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和3年度 年計	令和4年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	5	31	38	▲22	▲100	17
	4.0	1.7	1.1	0.7	0.0	3.5
富山県	3	▲13	13	▲17	▲100	▲7
	3.3	0.7	0.9	1.0	0.0	2.6
2県計	4	14	25	▲19	▲100	5
	7.3	2.4	2.0	1.7	0.0	6.1

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社
・石川県には、工場無し
・新潟県・富山県の在籍工場分を集計(3県以外への出荷を含)